NIE実践報告

1．タイトル：新聞資料を活用してものの見方・考え方を広げる指導

2．学校名

朝倉市立甘木小学校

3．実践者名（代表者名）

田中　菜穂子

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語・社会　３５名

6．単元（本時の学習課題）名

国語「新聞の編集のしかたや記事の書き方に目を向けよう　新聞を読もう」

7．目標(狙い)

〇新聞に興味をもち、進んで特徴を見つけたり発表したりしようとする態度を育てる。
〇複数の新聞記事を読み比べることの意味や効果を知り、見出しやリード文から要旨をとらえたりすることができるようにする。

8．評価の視点

〇新聞記事の性格や結論を先に見出しで示し、本文で詳しく述べるという特徴をとらえたり、発信者の意図により内容・表現が変わり、読み手の感じ方も変わってくることを理解したりしながら読んでいる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

国語「新聞の編集のしかたや記事の書き方に目を向けよう　新聞を読もう」　２時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

１新聞の便利なところを見つけたり、記事の中で自分が興味を持った話題を見せながらグループ内でスピーチしたりしながら報道記事の特徴を読みとろう。①
２発信者が違う２つの記事を読み比べ、内容や表現の違いについて考える。①

＊新聞記事の性格や結論を先に見出しで示し、本文で詳しく述べると言う特徴があることを理解する。（逆三角形の構成）
＊発信者の意図により、内容・表現が変わり、読み手の感じ方も変わってくることを理解する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・同じ内容でも、新聞社（発信者）によって、書き方（内容）や写真・見出しの表現の仕方（表現）に違いがあることが分かった。

12．成果と課題

〇　ＮＩＥ活動の一環として，毎朝の「新聞スクラップ活動」を継続的に行ったこと、子どもたちが新聞への関心が高まり，記事やニュースに関心を持つようになった。また，４月学習参観でＮＩＥ活動を公開したことで，保護者への理解も図ることができた。
〇　新聞を読むことだけでなく，活字を読むことへの苦手意識が非常に強い子どもたちが多かったが，学級に子ども新聞記者がいたことで，その子の書いた記事をきっかけに，意欲的に活動に取り組むことができた。
〇　「新聞を読もう」の学習をきっかけに、家庭学習や自主学習に新聞記事を貼り、感想を書いてくる子、